

# とめ 市議会 だより

PUBLIC INFORMATION



一夢・大地 みんなが  
愛する水の里一



『よろしくお願ひします。』

目次	30人による登米市議会がスタート ……	2
	予算総額734億9202万円を可決 ……	4
	会派代表質問 ……	6
	市政ここが聞きたい(一般質問)【24人登壇】 ……	9
	常任委員会活動報告 ……	18
	市民メッセージ (あなたの声・わたしの提言) ……	19

2009

第16号

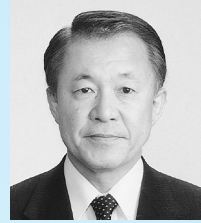
5月29日

# 市議会がスタート

平成21年第4回臨時議会は5月13日に招集され、1日の会期で開かれました。  
この臨時会は、市議会議員改選後の30人による初議会であり、議長・副議長の選挙、各委員会の委員選任などを行いました。

## 議長に星順一氏

## 副議長には八木しみ子氏



議長 星 順一



副議長 八木しみ子

### 議長就任のあいさつ

今回の市議会の改選における市民皆さまの力強い声援と気づかい、そして厳しい評価と意見を胸に議長の席にあります。

登米市誕生以来、懸案の消防防災センター、斎場など「広域4事業」や多くのものが実現しました。一方、医療や経済環境の急激な変化の中で、病院の診療所化や入院休止、雇用不安、学校統合など多くの市民が痛みと不安を抱いた4年間でもありません。

厳しい選挙を戦い抜いた30名の議員諸兄には、自らの公約職見を存分に発揮し、白熱した論戦が交わされ、同時に惜しくも議場で相俟みえることができなかった候補者諸兄、サイレントマジョリテイ（声なき声）にも耳を傾け、一隅を照らす市政の実現にも力を発揮されることと思います。

世界的不況や新型インフルエンザなど市民生活が世界と直結した今日、議会は自らの改革とともに市民の目線で山積する課題に挑戦してまいります。市民皆様の厳しい声と御支援をお願い申し上げます。

## 委員会構成を決定

【◎委員長 ○副委員長】

### 総務企画委員会



市の総合計画や財政、税務、防災・消防など総務部及び企画部の事務を調査。選挙管理委員会や監査の事務及び他の委員会に属さない事項を調査。

【写真右から】

- |         |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 岩淵 正宏   | 岩淵 勇一 | 佐藤 恵喜 | 庄子 喜一 |
| ◎小野寺金太郎 | ○中澤 宏 |       |       |
| 二階堂一男   |       |       |       |

### 教育民生委員会



教育行政全般（小中学校・幼稚園・公民館など）、福祉・保健・医療（病院）やゴミ処理、火葬場など教育委員会及び市民生活部、医療局の事務を調査。

【写真右から】

- |        |        |       |      |
|--------|--------|-------|------|
| 田口 政信  | 菅原 幸夫  | 沼倉 利光 | 遠藤 音 |
| ◎武田 節夫 | ○工藤 淳子 |       | 浅野 敬 |
| 佐藤 勝   |        |       |      |

# 30人による登米

## 産業経済委員会



農林水産業や商工、観光など産業経済部及び農業委員会の事務を調査。

- 【写真右から】
- 熊谷 憲雄
  - 八木しみ子
  - 金野 静男
  - 佐々木 一
  - 及川 昌憲
  - 佐藤 尚哉
  - 関 孝

## 建設水道委員会



建設、土木、水道事業、下水道事業など建設部及び水道事業所の事務を調査。

- 【写真右から】
- 阿部 正一
  - 田口 久義
  - 伊藤 吉浩
  - 浅田 修
  - 及川長太郎
  - 相澤 吉悦
  - 伊藤 栄

## 議会運営委員会



議会が円滑に効率よく進むように、議事日程や運営などを協議する。

- 【写真右から】
- 佐藤 恵喜
  - 金野 静男
  - 及川 昌憲
  - 伊藤 栄
  - 浅田 修
  - 関 孝
  - 伊藤 吉浩
  - 小野寺金太郎
  - 浅田 修

### 宮城県後期高齢者 医療広域連合議会

議員 田口 政信

### 議会選出監査委員

庄子 喜一

### 議会報編集特別委員会

委員会構成は最終ページをご覧ください。

### 選挙管理委員及び 同補充員を選出

#### 選挙管理委員

- ・佐々木昭壽さん (豊里町二ツ屋)
- ・佐藤多喜夫さん (東和町米川)
- ・須藤 均さん (津山町横山)
- ・石川喜生子さん (中田町石森)

#### 選挙管理委員補充員

- ・片倉 敏明さん (米山町桜岡)
- ・千葉 美光さん (迫町佐沼)
- ・高橋 正勝さん (南方町八の森)
- ・菅原 清種さん (石越町南郷)

### 教育委員会委員の 任命に同意

教育委員会委員の任命を行うにあたり、議会の同意を求められ、任命することに同意しました。

#### 【同意対象者】

- ・久保 泰宏さん (米山町中津山)
- ・小野寺範子さん (迫町佐沼)



# 平成21年度予算

# 総額734億9202万円を可決

平成21年  
第1回定例会

平成21年第1回定例会は2月5日に招集され、3月3日までの会期で開催しました。

21年度各会計当初予算案をはじめ47議案が提出され慎重に審議した結果、原案のとおり可決しました。

また、市長の施政方針に対し、6会派の代表者が質問をおこない、一般質問は24人の議員が市政を質しました。

## 予算審査特別委員会

### 一般会計予算

#### 歳入

平成21年度予算編成にあたって市長より、経常経費の徹底した削減のもと政策経費の確保に努めるべく、一般行政経費は枠配分方式の予算編成手法とし、一般行政経費の削減をこれまで以上に行うとともに、他の経費についても徹底した見直しとゼロベースからの積み上げ、さらには施策の効果や市民の目線に立った事業の厳選などを行い、真に必要な事業に重点的に配分することを基本として、21年度は改選年度であるため、義務的経費をはじめ経常的な経費や継続的な事業を中



心に予算編成することとしたと説明がありました。議会では、予算審査特別委員会（委員長に穴戸敏郎議員、副委員長に氏家英人議員）に付託し、4日間にわたり審議し原案のとおり可決しました。審議した内容のいくつかを要約してお知らせします。

算でどういう状況になってくるのか。

- ◎ 人口減少に係る地方交付税減少分はどれくらいか。
- ◎ 22年度までは17年度の国勢調査人口での算定となっており、23年度の算定から22年度国勢調査人口が反映される。
- ◎ 現年課税分よりも滞納繰越分についての予定収納率が極端に低いと思うかどうか。

- ◎ 滞納繰り越し分が非常に増えている原因として、不良債務化している長期的な部分があり、その整理、収納率向上には鋭意努力している。

- ◎ 国の1次、2次補正分は、20年度予算、21年度予

地場の産品、地元の商店を大事にしたいということであり、その主旨の範囲内で進めたい。

- ◎ 交通対策費で、総務企画委員会として住民バスの台数とそのあり方、その費用対効果の検証、ボランティア運行制度等の考えを示したが、どの程度予算に反映されているのか。

- ◎ 細かいところの精査までは至らないのが現実である。いろいろな意見等も踏まえながら、21年度の中で取り組んでいく。

- ◎ 妊婦検診の公費負担額は14回になるのか。その周知徹底を早めに行うことが大事と思うかどうか。

- ◎ 市内企業の製品等購入について、いかに地元業者、商工業者から購入するか課題である。どう進めるのか。
- ◎ 市内企業生産品の調達について、基本方針を策定し調達指針を策定中。基本的な考え方は地元の企業、



◎ 大崎市民病院救急救命センター運営負担金について、今後も同じった負担金等については惜しまず協力し、その上に立って医療連携をするような体制、そういった考えが大切だと思っどうか。

◎ 救命救急医療の充実、そしてまた、そういった取り組みについての支援を続けていく。

◎ 和牛ブランド推進協議会の負担金が前年対比減額となっている。1日1億円創出を目指す市の産業振興につながる部分であり、明確な今後の方針を示せ。

◎ 基本的には肉質、発育性を兼備した牛づくりの方向性は変わらない。生産基盤対策、消費販売対策、地元小学校給食の牛肉の活用等の事業と、大消費地でのPR活動を継続して進める。

◎ 有機センターの今後の運営について、循環がうまくいかないと制度の目的も十分達し得ないが、将来的な畜産経営の規模等も把握しながら考えていく必要があると思っどうか。

◎ 環境保全型農業推進の中で生産部門の重要な施設ととらえている。将来の畜産振興で規模拡大も含めた

中での課題でもあり、その役割は今後も重要になってくると考えている。

◎ 公民館の自主運営（指定管理）について、つくる段階から住民参加がなければ名ばかりになってしまっと思っが、基本的な考えは、

◎ 市民ありきというスタンスでかわっている。自主運営の手段として指定管理があるという考えであり、十分に市民の声を聞きながら進めていきたい。

◎ 包括支援センターの活動内容が見えてこないが、

◎ 保健師、社会福祉士、在宅介護支援専門員などの分野の職員が一緒になって地域の高齢者を見守っていく制度である。医療再編と絡めて強化を図るといっ観点で取り組んでいく。

4月からの要介護認定の改善は実施を凍結し慎重に再検討を求め。要介護認定の仕組みを使って介護保険の利用制限を行おうとし

**反対討論**

**特別会計予算**

**企業会計予算**

※起立多数で原案のとおり可決。

**病院事業**

◎ 改革プランについて一定の見通しが付いたということであるが、安心することなく詳細にわたって改善計画をしていく必要があると思っがどうか。

◎ 今年度はほぼ改革プランで見込んだ予算編成ができた。23年度の黒字化に向けた不良債務の解消に努力し、公立病院の特例債の償還が27年になるため、それらを見据えた中で経営努力をしていく。

**医療再編調査特別委員会中間報告**

第1回定例会において、医療再編調査特別委員会から基本的な認識と見解を取りまとめた中間報告がありました。

**概要**

1. 医師を始めとする病院スタッフ一人ひとりが、一体となって取り組んでいく体制づくりが求められる。
2. 市民ニーズを十分に掌握し、それに応えられる包括的医療、ケア体制づくりを求める。
3. 医師の招聘は地域医療体制の根幹であり、新たな人脈の開拓などの視点を変えた対応の検討など、早急かつ実効ある取り組みを求める。
4. 改革プラン財政計画の基礎数値を積み上げ、一つひとつの計画実現の徹底に努める。
5. 地域連携室を中心とする連携構築のため、実効の上がる体制の見直しを求める。
6. 公営企業法の全部適用を生かした経営改善を速やかに進めるべきである。
7. 病院事業管理者の後任を速やかに選任し、改革にあたらせる。
8. 佐沼病院は、中核病院としての役割を果たし、住民の安全安心を確保できる病院づくりを求める。
9. 米谷病院の病床維持を求める請願審査は、現在推進している改革を止めることはできないと判断し、不採択とした。市民に対して、今後も改革への理解、不信の払拭など、きめ細やかで積極的な市の対応を求める。

**市民との協同体制の確立が求められる**

**人権擁護委員候補者 適任と決定**

人権擁護委員候補者の推薦につき、適任と決定しました。

人権擁護委員候補者

わたなべ みよる

○ 渡邊 稔 さん (南方町八の森)

大場文雄委員長

# 会派代表質問

第1回定例会において、市長から21年度の施政方針が表明され、6会派の各代表が質問をしました。内容を要約してお知らせします。

## 問 医療・産業再生など重点策を問う

## 答 体制・機能を強化し、施策を推進



登米・みらい21  
田口政信 議員

### 医療体制整備をどうする

**問** 改革プランで2病院5診療所体制、地域包括医療・ケア体制の方向を示しているが、再編に向けた施設整備、人員計画、診療システムの年次計画は。

**答** 佐沼病院南館の補強工事を行い、回復期リハビリ病棟を設置し、入院から在宅復帰までの一貫した医療の提供を目指す。

**問** 開業医等との連携のため「地域連携室」の機能強化が必要と思うがどうか。

**答** 開業医や訪問看護ステーション、介護、福祉施設との連携を強化し、入退院及び転院の調整を行い、患者の在宅復帰や在宅ケアの充実を図る。

### 産業再生と雇用対策は

**問** 農商工連携で「物産ステッパップ事業」を創設し、農業経営改革を支援するとしているが、具体的な取り組み方法は。

**答** 事業・財源、職員を集中化し、農商工連携による物産振興に取り組んでいく。商業者、食産業、サービス業などの異業種の方々と商

品開発などに取り組む。

**問** 農業分野の支援で雇用対策、若者定住施策は。

**答** 市内の6つの農業法人において14人の雇用が可能で、県と連携し雇用確保に努めていく。

### 市長のマニフェストは

**問** 「再び舵取り役として頑張りたい」と表明しているが、登米市づくりのマニフェストは。

**答** 総合計画を基本に時期を捉え、市民に示したい。

## 問 医療体制の整備を急げ

## 答 経営改善に取り組んでいく



水の里  
佐々木康明 議員

**問** 21年度の重点施策の第一番に医療体制の整備をあげているが、事業管理者が不在であり、また、多額の累積欠損金や不良債務を抱えている。多額の資金投入により経営の健全化を目指すというが、泡沫になることはないか。医師の確保も思うように進んでいない。これにどのように取り組んでいくのか、スピード感ある対応が必要だと思いが市長の考えを伺う。

**答** 病院事業の経営責任を明確にするため、公営企業の全部適用に移行し、大石

事業管理者を選任したが、体調を崩し退職したことは遺憾である。後任の管理者の人選を早急に進める。

一般会計負担のあり方も見直し、23年度までに総額55億円の繰出しを見込み、さらに病院事業の経費削減や収入増に取り組んでいく。医師の招聘には関係者の力を借りながら早急に取り組んでいく。

### 目指せ1日1億円

**問** 19年度における、市の農業産出額は約310億円であり、目標とする1日1

億円の達成率は85%である。畜産は伸びているが米価が低迷している。

市の特性を生かした農業を中心とした産業振興にどう取り組むのか。

**答** 環境保全米の作付けを普及することや、和牛ブランドづくりでは、市場・購買者の求める産品づくりに生産者や農協等と一体となり取り組んでいく。さらに、農商工連携の物産振興のステッパップ事業を積極的に図っていく。

**問** 4年間の歩みと今後の市政運営

**答** 均衡ある環境整備に最大限の努力



夢大地・とめ  
八木 しみ子 議員

**問** 合併後の旧町域間の醸成は計られていると思うか。市の一体感を図る今後の取り組みについて。

**答** それぞれの地域のまちづくりを尊重、新市に引き継がれた地域政策事業等は緊急度を考慮し事業を実施。広域4事業は21年度で全て整備が終わる。また、9町が一体となった事業等に新たに組み込み、市としての一体感の醸成を図る一助としている。

**問** 地域格差のない均衡ある発展を図るべきだ。

**答** 公共施設の耐震化等の

作業は全ての町域で着手し、消防署各出張所に救急車を配備、市民バスの運行等均衡ある環境整備に努めている。今後も最大限努力する。

**問** 中小企業の振興方策と駅を拠点とした観光対策は。

**答** 緊急経済・雇用対策を実施。融資資金の確保や市内企業製造製品の調達支援を図り、人材育成・技術開発等は、石巻専修大学と包括支援協定を締結し支援体制を構築する。産業振興会との共同で、商談機会の創設による企業支援を進める。また、駅を拠点とした観光

対策は、現在伊豆沼の白鳥観察など「駅長おすすめ小さな旅」をJRとの連携で実施している。駅周辺を活用した地域イベントも定着しており、パンフレット等で観光情報の提供に努める。

**問** インフルエンザ対策は。

**答** 市外の医療機関と契約し、予防接種率の向上を図り、高齢者施設、学校等の蔓延防止対策を各部署から周知。新型インフルエンザ対策は国・県の行動計画と合わせ準備を進めている。予防に有効な口腔ケアの取り組みも推進する。

**問** 施政方針、4年間の総括について

**答** 市民の負託に応えることができた



とめ・立志の会  
西條 清貴 議員

**問** 地域の再生は、市長の双肩に大きくかかっている。1期4年の任期満了の時期を迎え、この4年間、市民の負託に応えることができたと思うか、その総括は。

また、三陸道登米インター開通は、発展的影響が期待されるが、市内商業関係に与えるマイナス面も心配される。この開通を市内商業全般の振興につなげる方策が必要ではないか。

**答** 合併の契機となった広域4事業については、21年度で整備がされる見通しがつき、公共施設の耐震化も

進み、企業誘致対策にも努め、基盤は形づくられ、市民の負託に応えることができたものと思う。

高速交通体系に対する商業活動は、地域、商店会のみなさんが連携し、積極的に取り組むことが必要。その実現に向け、商業環境の整備など、総合的な支援を果していく。

**問** 昨秋以降、雇用状況は悪化の一途である。市内高校卒業予定者の就職内定率、有効求人倍率について伺う。

**答** 1月末の市内高校卒業予定者748人のうち、就

**問** 登米、米谷病院無床診療所化、2病院5診療所に再編する中で、市立病院と開業医との連携は。

**答** 米谷病院では米川診療所の協力を得、豊里病院でも入院の相互照会等連携強化に努めている。良質な医療を安定的に提供できる体制を構築していく。

**問** 病院地域連携室の強化策について

**答** 適切な人材配置と権限付与を行う



7 日 会  
二階堂 一 男 議員

**問** 23年度を目前に進められる病院改革の中で、市民の安全・安心を守る上から地域連携室の強化が重要となっている。具体的な強化策について伺う。

**答** 開業医や訪問看護ステーション、介護、福祉施設との連携を強化し、患者さんの入院及び転院等の効率的な調整、在宅復帰、在宅ケア支援の強化に向け必要な人材配置と、一定程度の権限付与も含めさらなる充実を図っていく。

病院事業管理者職務代理者 開業医の先生との連携について、登米市医師会は高齢化のこともあって、役員をやってくれるドクターが少なく大変な状況である。

会長に話しても動く方はごく一部なので、市から積極的に個別に応援をお願いする形をとらないとまともでないのではと思っている。現在地域連携室は4人だが、ソーシャルワーカーの資格を持った職員がいないため、今後、それらを入れた中で一定の権限を与えた

体制を21年度の早いうちにつくってきたい。

**問** 今市内の建設業者は、受注減で大変苦慮している。山形県庄内町で実施している「持家住宅建設祝金制度」のような施策を講ずる考えはないか。

**答** 市内建設業者の実情は把握している。市は緊急経済、雇用対策として融資環境の改善や、公共事業での債務保証事業を実施している。庄内町の例は一つの政策提案と受け止めさせていただく。

**問** 新規就農者に支援金を

**答** 県・市の制度を活用する



日本共産党議員団  
佐藤 恵喜 議員

**問** 構造改革・新自由主義的政策で暮らしは破壊された。今、まことに転換の知恵。構造改革としての労働者派遣法の規制緩和や三位一体改革、医療制度改革などさまざまな分野で格差を拡大、地方はまともに影響を受けた。

**問** 公民館はどうあるべきか。指定管理者制度ありきではなく、住民の意識調査や実態調査を行い、住民参加で探求すべきでは。

**答** 議員、ご指摘の意見を踏まえながら、懇談会を開催していることを認識している。

地域コミュニティの内容は一樣ではないので、画一的ではなく理解と協力を得ていく取り組みが必要だ。

**問** 新規就農者に月10万円、3年間支給する支援金制度を、地産地消を言うならば、病院給食の民間委託をやめるべきではないか。

**答** 新規就農者から要望があるが、県・市の支援制度を活用していく。6次産業

の起業化により、学校、病院、福祉・介護施設、ホテル等にも提供できる新たな地産地消体制の構築を考えている。病院給食の業者に「できるだけ地元食材を」ということをお願いしている。

**問** 後期高齢者医療の保険料滞納者は年金が月1万5000円以下の高齢者だ。この方々からの保険証取り上げはやらないと明言を。

**答** 1月末現在の未納者は217人。悪質なケースに限るとというのが私の判断。



# 市政

# ここが聞きたい

## 一般質問

第1回定例会の一般質問は、2月16日から4日間、24人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。  
(紙面の都合により内容を要約してお知らせします)

### 問 協働のまちづくりとは

### 答 内容をもう少し精査していく



相澤吉悦 議員

**問** 本来行政で行つべきものを、地域の皆様が相互の結びつきを深めながら、行

動計画を立て行政の支援を受け、地域と行政が一体となって事業の目的に向かって実施していくことが、協働のまちづくりの推進につながると思うが。

**問** 姿ではない。市のやるべきこと、協働できるべきことの判断を市民の代表にこれからも全部任せていくのか。

**答** 市の職員も入るべきか、内容をもう少し精査して、どのような方向がいいのかわかるようにしている。

**問** 審査をするに当たっては、現場を一回は見ればだめだと思つた。また、指導もしなければならぬと思つた。

**答** しっかりと提案して

ださる皆様の意を、十二分に汲み取ることが出来る審査会にしていきたい。

**問** 各施設や学校図書館に、図書館司書を置くべきだと思つたか。

**答** 子どもの読書離れを防ぐ上からも学校図書室の内容充実や、司書的作用を期待できるボランティアの連携協力などに努めながら運営していく。また、図書館においても、中核施設が必要ではないかという関係者の意見もある。

### 問 安全安心の病院づくりは

### 答 地域に必要な体制を残す



沼倉利光 議員

**問** 市長は市民の目線の市政を標榜しているが、市民より佐沼病院の充実、米谷病院の必要性を訴える方が非常に多い。栗原市は病床数も多く栗駒病院は新築中である。栗原市と安全安心の尺度が違つと思つ。救急

車の台数は増え6分程度で到着するが、現地出発に40分以上かかるケースもある。市民の命を守り、安全安心のために病床数を確保し、魅力ある病院づくりについて伺つ。

**答** 人口10万人当たりの医師数は106人で県平均の半分、医師数や病床数を増やし充実させることは理想であるが、財政難の現状で現体制を継続することも困難な状況である。経営優先

縮小ありきでなく地域に必要な医療提供体制をいかに残せるか念頭にしている。

**問** 迫ハローワークによると、新規求職者は12月で565名、1月も約800人近くで急増している。不況対策はいかに行つたか。公共事業の前倒しの考えはないか。また、最低制限価格の底上げで入札失格者もあり、入札業者への指導について伺つ。

**答** 昨年12月に市緊急経済雇用対策本部を設置し、常設の相談窓口を開設し、再就職に向けた条件整備を図る。公共事業は前倒し発注が可能なものを迅速に行つ



水道事業では第1四半期で約20%、上半期で70%の工事発注を見込む。

### 問 経済不況に積極果敢な取り組みを

### 答 自治体の役割の中で支援策をとる



佐藤 勝 議員

**問** 百年に一度の経済不況に対し市の対応を伺う。

- ①市内で雇い止めや解雇された市民はどれくらいか。また、今後の見通しは。
- ②二次補正の地域活性化臨時交付金は市にどれほど交付され、どんな事業を行うのか。
- ③懸案となっている生活道路の整備を集中的に行い、雇用対策や市内経済活性化につなげたらどうか。
- ④定額給付金は予算関連法案が成立する間、先行できる事務事業を進め法案成立後速やかに給付できるように特段の準備を行うべきだ。
- ⑤市内に13億6000万円もの給付金が支給されるが、できるだけ市内での消費を促す施策を検討すべきだ。

**答** ①本年1月現在で372人が解雇されており、今後も雇用調整が進む予想

だ。

- ②本市には9億7000万円交付され、市の実施計画の前倒しも含め、制度に沿った事業を推進する。
- ③市の臨時雇用で道路清掃・補修事業を行う。国の予算使途が明確になり次第生活道路の整備に取り組む。
- ④庁内に定額給付金プロジェクトチームを設置し、迅速かつ確実な給付に向け鋭意取り組んでいる。
- ⑤給付金が市内の商店に還流され市内経済高揚に結びつく対策が必要であり、商工関係者・関係機関と協議し、実施に向け検討する。



閉校となった善王寺小学校

### 問 総力の結集なくして病院改革なし

### 答 全力で地域医療、福祉を支える



中澤 宏 議員

**問** 最近の市立病院の経営は深刻で、医療収入は合併時の70%まで落ち込み、本年度の累積欠損金は100億円を越す見込みにある。医療費用は収益を16億円上回り毎日400万円を越す赤字の出る異常な事態だ。

- ①連携する病院や開業医先生など地域と共に変わる②医師、看護師、職員と共に変わる③市民と共に変わらなければならないが、その共に変わる方策について市長、病院事業管理者に所見を伺う。

重大なこの事態をどう変えるのか、病院改革プランだけが一人歩きすることなくこの問題解決のために皆の心と力をどう結集できるかがきわめて重要だ。そこで、

- ①大崎市立病院、石巻日赤病院、一関磐井病院など患者の受入をお願いする連携病院には、バックベト機能を備えることで相互補完できる良好な関係を構築する。
- ②開業医先生とは、医師会の協力を得て、連携の構築を図る。
- ③市内全域を対象とする訪問看護、訪問介護、訪問リハビリの充実を図り、超高齢化社会に対応した地域医療、福祉体制を構築する。
- ④地域の医療を守っていくという意気込みある職員を伺う。

### 問 定額給付金の支給方法について

### 答 申請の方法は郵送で行う



佐久間孝夫 議員

**問** もともと定額給付金の2兆円は、霞が関の埋蔵金の一部である。2年後に実施する消費税の増額と引き

換えに給付するものであり、支給方法は市に丸投げをされた。市では給付金を配る段階になって混乱が起きないか。支給は口座振込みとするのか。給付案内が始まると高齢者から取りにいけないという電話がくるか。振り込みがどうなのか。振り込み詐欺や窃盗対策はどうす

るのか。

**答** 給付の方法は郵送による通知、申請書の返送を想定している。申請書には通帳の写し、住民基本台帳や免許証、保険証の写しを添付のうえ返送していただき、指定口座に振り込ませていただく。高齢者で申請が困難な方には、民生委員の方に支援を要請する。振り込み詐欺等の防止は、国・県と連携し広報や防災無線等で注意を呼びかける。



善王寺小学校閉校跡の活用は

**問** 善王寺小学校は4月1日に閉校となるが、その跡地に米山東幼稚園と、精神小規模作業所を人所させてはどうか。体育館は弓道協会に貸与せよ。

**答** 米山東幼稚園の入所は利活用の一つと考える。精神小規模作業所は課題も多く、入所できる状況はない。弓道は現有施設を活用してほしい。

**問** 産科と小児科の入院再開の用途は

**答** 最大限に努力していく



西條多美子 議員

**問** 病院再編計画の中の産科と小児科の入院再開の位置付け、産科医と小児科医の招聘の考えと行動を伺う。  
**答** 産科・小児科ともに全

国的な医師不足が問題化している。国の特別交付税措置を充実させても医師不足の解消に結びつくものではない。産科・小児科医の招聘と入院再開は、病院改革プランでも今後の大きな目標であり、関係者と密接に連携しながら最大限に努力していく。女医の招聘については院内保育所の設置も

含めてトータルに考えないと難しい。佐沼病院に助産所の設置も考えたい。

**問** 隔年受診の乳がん検診は毎年希望者全員が受けられないか。  
**答** 対応する乳がん診断医師の確保が困難であることから、21年度での対象拡大はできないが、他町域での集団検診の受診と佐沼病院では月曜・水曜に検診を受けられる体制を整える。

**協働のまちづくり  
事業について**

**問** 市が募集したまちづくり事業の基準と不採択の理由は。こつした事業の可能性と今後類似の事業についての対策は。  
**答** 審査基準により決定したものの。危険な作業が伴う事業も取り組みやすくするため検討する。

**問** 経営責任を明確にし、地方公営企業法「全部適用」を採用。大石病院管理者を迎えたが、管理者の理想は空転し、病院を維持することが極めて難しい状態にある。①病院管理者の招聘は行わないのか。②「改革プラン」に沿わない場合はどうするのか。③耐震補強の有利な起債はあるのか。④マナーアップ運動の成果は出ているか。



小野寺金太郎 議員

**問** 審査基準により決定したものの。危険な作業が伴う事業も取り組みやすくするため検討する。

**答** 経営責任を明確にし、地方公営企業法「全部適用」を採用。大石病院管理者を迎えたが、管理者の理想は空転し、病院を維持することが極めて難しい状態にある。①病院管理者の招聘は行わないのか。②「改革プラン」に沿わない場合はどうするのか。③耐震補強の有利な起債はあるのか。④マナーアップ運動の成果は出ているか。

**問** どうする 管理者不在の病院経営

**答** 改革プランで示した数値で経営

要と考えている。

**問** 公営企業法の全部適用で何が変化したのか見えてこない。井林副市長が病院事業管理者代理を兼務する方向で検討してはいいかがか。病院事業会計に55億円を繰り出し良い結果は出るのか。  
**答** 公営企業法の全部適用で人事、予算組み立てに自主性が生まれ、独自の取り組みがされている。副市長の兼務は、医療現場と事務方の中では基本的に無理であり、改革プランで示した数値で経営させていただく考えでいる。

**問** 公共事業の地域経済への影響は

**答** 縮減傾向の下での業者育成も必要



大場文雄 議員

**問** 地方には、公共事業を主力とする事業者も多く、事業総量が減少傾向にあるなかで、雇用確保の面からも経営を維持できる適切な業者指導が求められるが。また、真に必要となる事業

の厳選は当然だが、地方が必要とする公共事業の新たな提案も今後考えていくべきだ。  
**答** 20年度に市内で行われた公共事業は、国庫事業を含め175億8100万円となっている。うち市内業者の受注割合は51%程度となっている。公共事業総量はピーク時の65%に減少し、今後も削減傾向にある。こうした時代における事業の



品質確保や業者の健全経営の維持、業種転換などに適切な情報提供や指導を進め

ていく。国への新たな公共事業の提案も今後考えていく必要がある。

**問** 審議会の招集方法や、執行部の出席者のあり方に不満を持つ委員もいるが、条例に基づく運営は当然であり、政策的判断を求める審議会へは相応の責任者の出席が必要となるが。  
**答** 市長に準ずる者の出席に改める。形骸化しない審議会運営を目指しているが、今後一層望ましい体制作り

に努めていく。

**その他の質問**

○減反政策について  
○リサイクル事業について

**問** ①経営、職員の士気にも好ましい状態ではない。早期に後任の人選をする。②数値目標の達成が困難と認められたときは、改革プランを抜本的に見直し、全面的な改定を行う。③100%充当可能な起債を発行、36%が後年度に交付税措置される。④いまだ、苦情や苦言を寄せられる場合もあり、さらなる徹底が必

市立病院改革プラン

開始年度	終了年度
平成20年度	平成23年度
平成20年度	平成23年度

市立病院改革プラン

項目	内容
① 病院の経営改善	① 経営改善(1) 経営改善(2) 経営改善(3) 経営改善(4) 経営改善(5) 経営改善(6) 経営改善(7) 経営改善(8) 経営改善(9) 経営改善(10)
② 病院の施設整備	② 施設整備(1) 施設整備(2) 施設整備(3) 施設整備(4) 施設整備(5) 施設整備(6) 施設整備(7) 施設整備(8) 施設整備(9) 施設整備(10)
③ 病院の地域連携	③ 地域連携(1) 地域連携(2) 地域連携(3) 地域連携(4) 地域連携(5) 地域連携(6) 地域連携(7) 地域連携(8) 地域連携(9) 地域連携(10)
④ 病院の経営改善	④ 経営改善(1) 経営改善(2) 経営改善(3) 経営改善(4) 経営改善(5) 経営改善(6) 経営改善(7) 経営改善(8) 経営改善(9) 経営改善(10)

市立病院改革プラン

### 問 21年度生産調整と今後の方向性は

答 長期的な視点に立った取り組みを



及川長太郎 議員

問 21年度生産調整面積配分と取り組みは。

答 各都道府県に対しては目標達成県と、未達成県の公平性が考慮され、市は前年度より1104t多い6万1513t、178ha作付面積が増加。環境保全米を主に売れる米作りと生産調整に対する取り組みが評価されたものと認識する。国に対して長期的な視点に立った取り組みを求めている。

問 畜産振興の中で登米地区畜産担い手総合整備事業の見通しと、家畜導入事業に対する考えは。

答 20年度肉用牛生産者20戸で採択を受け5力年間で事業完了する予定。今年度は、草地造成15力所、畜舎整備4棟、堆肥舎整備5棟を実施。21年度は草地造成1力所、畜舎整備4棟、堆



肥舎整備2棟の実施。計画的な素牛104頭の導入を含めた事業推進を図り農業産出額向上を目指す。家畜導入事業については、繁殖素牛導入制度の見直しを図り、市和牛育種組合が推奨する県種雄牛及び優良種雄牛産子の自家保留、導入に対する補助額を一律5万円とし基礎牛づくりを推進。一戸当たり5頭以内で今年度220頭の予定。肉牛の素牛導入については、雌牛、去勢とも2万円とし地域内一貫経営を推進（これまでは雌牛1万円）、一戸当たり上限20頭。

### 問 不況対策、本市の取り組みは

答 的確に多様な対策を実施



千葉清昭 議員

問 ①市の緊急雇用対策への応募状況と成果の見通し

答 ①市の緊急雇用対策への応募状況と成果の見通しは、②市内に立地する企業への支援内容。③農林業への雇用状況。④定額給付金事業への対応と割増商品券発行支援の考えについて。

### 問 団塊世代の余生はふる里で

答 希望者を迎えられる体制を整える



植田正俊 議員

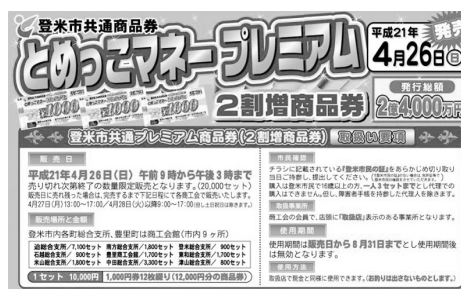
問 団塊世代の6割ぐらいの方は、余生はふる里へ戻って生活したいと聞く。こう

員に達するまで採用する。②パソコン、液晶テレビ、複写機等を随時公共施設などに調達を進める。③市内6法人で6人採用。森林組合も4人採用予定である。④国会で関連法案が成立後、市議会で補正予算が承認されれば、通知書を発送する。割増商品券発行については、商工関係団体等と協議して進めたい。

問 ①市税、交付税収入の見通しを軽減としたことは甘くないか。②病院会計へ

の補填のため投資的経費が半減するが対応策は。病床数減少と利用率向上の計画に無理はないか。③県や大阪府などのような、人件費の大幅削減を含む聖域なき財政再建への取り組みは。

答 ①20年度は税収が若干伸びた。22年度は大幅減の見込み。②きたかみ園、斎場事業等以外では大幅減にはならない。病院は在院日数の短縮化や在宅医療の充実などで対応していく。③職員の給与水準は県よりかなり低いが、450人の削減等引き続き改革を推進する。



好評だった「とめこマネープレミアム」商品券

宅を始め、市ホームページでも紹介している「空き家バンク」の活用を行うなど、多くの希望者を迎えられる体制を整えていく。

問 閉校の校舎の活用について、現在どのように検討されているのか伺う。

答 この1年で施設を調査いただいた件数は6件あり2つの事業者から施設貸与の申し出がある。また、NPOなどから活用の相談を

受けており、庁内関係課長等で構成する市有財産活用推進委員会を中心に取り組み、活用策を検討していく。

問 本市には自然のよさがあるのだから、専門家のような方々を招いて研究チーム、プロジェクトをつくらせて検討したらどうか。

答 施設によっては、そのような専門家の方々を招いて検討する必要もあるのではないかと考えている。

特別職給料等審議会を開かない訳は

改選後検討する



遠藤卓郎 議員

市民であると思う。行政に  
対する力不足と市民は評価  
していると思うがどうか。  
答 社会経済情勢の変化は  
十分認識している。これか  
らしっかりと検証する。

問 政務調査費について総  
務省に聞いたところ、地方  
交付税には入っていない、  
つまり市民の税金で支出し  
ていることがはっきりした。  
その目的は、研修旅行で学  
んだことを生かし、企画立  
案、政策形成をして始めて  
達成されると思うがどうか。  
答 政策に、地域の行政課  
題の解決に役立つよう、適  
切に執行していただきたい。

問 病院経営は昨年4月か  
ら地方公営企業法を全部適  
用し、経営の改善、責任の  
明確化を図るため事業管理  
者を設置し「市立病院改革



高泉雅樂 議員

最終的に市長に責任があると認識

病院事業管理者の経営責任は

プラン」が示された。そこ  
で伺う。  
①20年度の計画数値と補正  
第4号との比較は累積欠損  
金6000万円不良債務で  
1億円も悪化している。策  
定した年度でこのありさま  
では23年度まで本当に経営  
改善が可能か。  
②このような病院経営悪化  
に対する事業管理者の責任

はどのようになるのか。また、市  
長は責任逃れのために事業  
管理者を設置したのではな  
いか。  
答 ①予算作成手法として  
最低限の収益を見込み、費  
用についてはある程度の余  
裕を持った作成とした。医  
師の転職などがあり、この  
マイナス面を考慮すると、  
改革プランにそった累積欠  
損金、不良債務の額を圧縮  
できるとの見通しを持って  
いる。  
②病院等公営企業の環境の

変化に、迅速かつ柔軟に対  
応する専門性や、権限を発  
揮し経営の改善を図る目的  
で、最高責任者として管理  
者を設置した。また、市長  
として最終的な責任はある  
と認識している。

その他の質問

- 産業振興と地産地消運動  
の具体化、雇用確保につい  
て
- 災害対策緊急時水道運  
絡管の整備について

佐沼病院 医療体制の後退を問う

中核的病院とし機能充実を図る



三田静夫 議員

問 昨年4月より登米病院  
の診療所化と同時に、病院  
事業を地方公営企業法の全  
部適用として運営されてき  
たが、この1年間市民の目  
線から見ても一向に改善策  
が見られない。むしろ佐沼

病院においては医療体制が  
後退しているのではないか。  
登米病院診療所化の代償と  
して、佐沼病院の充実が条  
件だったはずだが、いつに  
なったら市民が望む中核的  
病院となりえるか。  
答 登米診療所においては、  
在宅療養支援診療所として  
在宅医療への体制強化に取  
り組む。また、佐沼病院に  
ついては、昨年9月から南  
館4階の病棟を休止してい



るが、これは病床の利用状  
況や看護職員の適正な人員  
配置等を勘案した結果、医  
師の負担軽減を図ることも  
に救急外来へ看護師を増員

その他の質問

- 農畜産物の販売戦略
- 森林セラピー基地周辺整  
備について



公開している収支報告書

問 21年度の予算は、骨格  
予算であり、その中で重要  
なのは特別職の報酬と財政  
とのバランスとと思う。その  
ためには、第三者機関の審  
議会の答申を聞くことが大  
切であり、ことに今年度は  
地方進出の企業の倒産、リ  
ストフという百年来の不況  
である。それが合併協議会  
で決めた報酬額をそのまま  
提案している。その理由は。  
答 現下の社会経済情勢等  
を総合的に勘案し、他市町  
村の動向等も踏まえ、更に  
改選後における議会の意見  
等を拝聴し広く検討する。  
問 19年度から23年度まで  
1000億円にのぼる負債  
がある。大阪府の橋下知事  
は、転落寸前の財政を1年  
で黒字にした経過が全国に  
報道された。政治行政の責  
務は、首長、議会議員の力  
量にあり、市を支えるのは

職業訓練協会に対する今後の対応は

答 役員を提訴する方向で準備



小川勝男 議員

問 河北新報の報道によれば、宮城県は1540万円の返還を求め、登米郡技能者訓練協会理事を提訴した。20年4月24日第2回臨時会でも登米郡技能者協会補助金の経過について報告があった。民法第53条理事の代表権「理事は総じて法人の事務につき法人を代表する」民法644条「理事は権限を行使するとき、善管注意義務（善良な管理者としての注意義務の意）を負っている」とある。客観的に申せば不正な利益を図る目的で権利を行使することは許されない。責任役員であれば氏名を公表されても弊害はないものである。理事氏名を公表できないか。また、市としての今後の対応は。

答 宮城県が提訴した登米郡技能者訓練協会の役員に

対する訴訟の対象理事について、当時協会の理事25人のうち決裁権限のある役員、不正関与した事務局長など8人をその相手方としており、市としても基本的には同じである。今後の対応については、返還が行われない場合役員を提訴する方向で顧問弁護士と準備を進めている。また、理事名簿関係で公になっている資料等での公表は可能である。



登米郡技能者訓練協会

登米市内で創業してもらおう

答 「きっかけづくり」に取り組み



氏家英人 議員

問 現在「とめっコマネー」は「割増なし」で流通しているが、定額給付金の支給を見据え、割増し分を市が負担し、市内消費を刺激してはどうか。緊急経済対策として実施すべきでは。

答 定額給付金の市内還流そして市民の消費意欲を喚

起する対策として有効な手段と考えている。商工関係者、関係機関と協議する。

問 活力あるまちづくりには若者の定住が欠かせないが、市内雇用が満足ではない。そこで「創業するならば登米市で！」をキャッチコピーに全国から起業家を集めて登米市で起業してもらう取り組みはどうか。具体には「起業・創業立案コンテスト」などを市が開催し、優秀者には市内雇用を条件に市がしっかりサポートす

る。そこで「創業するならば登米市で！」をキャッチコピーに全国から起業家を集めて登米市で起業してもらう取り組みはどうか。具体には「起業・創業立案コンテスト」などを市が開催し、優秀者には市内雇用を条件に市がしっかりサポートす

るといった「社長の誘致」という考え方だ。他力本願でなかなか形にならない企業誘致だけでなく、自ら雇用創出を図る取り組みも必要だと考えるがどうか。

答 具体の提案もいただいたが、実行性を高めるために何ができるのかを考え、手立てを講じてまいりたい。

問 登米市は農産物の「地産地消」を推進しているが、さらに地元資本の店の商品を市内産品として位置づけ「地産地消宣言のまち」を標榜すべきではないか。

答 個人々の消費動向まで制限を加えることは難しい。

登米市政の展望と将来像について

答 市民福祉向上のため努力する



小白幸記 議員

問 5年計画の行財政計画に取り組んで3年を過ぎたが、目指す市の行政、財政

の姿の輪郭がまだはっきりしてこないのか。この時点での自己評価を伺う。

答 自立行動型職員の育成に対する取り組みと、客観的な評価制度を導入しながら進める必要があると感じている。また、事務事業等については、再評価、再検

討を加え費用対効果の向上が、より効果を発揮していくものと感じており、そういったサイクルが、今、まさに始めた段階であると認識している。

問 市は財政再建団体にはならないで、なんとかクリアできるのか。

答 行政改革を進めながら構造的な部分をしっかりと見据えないと非常にリスクが高くなる。今後いろいろな形での選択肢を選んでいか

なければならぬ。

問 条例が持っている意味と、市の現状をどういうふうにしていくのかが非常に大事であり、一工夫も二工夫もあっていいと思う。また、国の動向等情報をキャッチしながら今後の政策の展開を考えるべきと思うがどうか。

答 肌で感じる、実効性の高い取り組みをというよう

な貴重な提言であり、ご指摘いただいた点を十分踏ま



えながら、しっかりと行政運営をさせていただきたいと考えている。

### 問 日根牛総合整備計画について

答 役割を確認して事業調整する



伊藤 栄 議員

29戸の分譲希望があり造成を進め、22年から23年度にかけ分譲に向け造成事業を進める。また、国は堤防改修を、県は一般国道34

問 移転に伴う宅地造成用地取得から分譲までの事業で、最終的に何戸の希望があったか。また、国県事業の範囲や年次計画、事業費はどの説明されているのか。

答 46戸の移転対象者に再度意向調査を実施した結果、

度まで、下流区間の3kmは26年から31年度、羽沢堤防約1.7kmについては30年から37年度の予定と説明されている。

問 本県始めて開催されたデスティネーションキャンペーン(DC)。本格的に力をいれ取り組んだようだが、今後に向け観光誘客の方法をどう生かすのかが問われると思うがどうか。



スタートした日根牛地区宅地造成事業

みが予定されており、本市としても参画し今後に生かしたい。

### 問 産業の活性化で市民所得の向上を

答 新たな視点で販売戦略に取り組む



関 孝 議員

況の中で雇用の拡大を図るには、対象業種を拡大し立地奨励してはどうか。

問 県民経済計算による17年度の市民所得は、一人当たり197万9000円で県内36市町村中32番目と低く、県平均262万円の75%という生活水準である。市内経済の低迷、若者の定住や結婚などにも大きな影響を与えていると考える。市民所得向上のためには、産業の活性化が重要である。どう取り組んでいくのか。

答 多額の事業所立地を推進する必要性は承知している。現在行っている企業誘致の取り組み方、既存企業への支援内容等について検証し、全体的な見直しを含めて検討していく。

### 問 小児科・産婦人科の再開はいつ

答 開業医も含め医師招聘に努力



浅田 修 議員

問 喫緊の課題である安心して子育て、里帰り出産ができる体制づくりには、小

答 先生方の情報をいち早く察知し、開業医の招致、

医師の招聘にあらゆる手立てを講じていく。

問 集落の巡回や現状を点検し、地域住民との話し合いを通じて課題解決に取り組む制度を創設せよ。

答 市が取り組んでいるまちづくり計画の取り組み手法が国に認められるよう県や国と協議をしていく。

問 一般職員採用がほとんどとされている。ひずみが出てくる。雇用対策も含め

計画性のある職員採用を。答 定員適正化計画による年度別・部門別の目標職員数を基準として、職員構成の空洞化が生じないように適切に採用していく。

問 減反選択性の導入が検討されている政府の農政改革と市政との整合性は。

答 県からの需給情報の提供を受け、これまでどおり転作の推進を図り、米価の安定対策を進める。

問 市企業立地促進条例では、対象事業者を製造業、運輸業、情報通信業に限定しているが、現下の経済状



緊急雇用対策での側溝清掃

### 問 病院をなくすな

答 起死回生の手はない



佐藤尚哉 議員

問 県の集約化で登米市だけ犠牲に。県との話は。

答 市として体制を産科・小児科医の招聘を進めながら、県に要請はしている。

問 市長プランを強行するのではなく、医師も住民も冷静に話し合う観点が大切。

答 医師が少ない。経営収支が悪化している中で、起死回生の手はない。与えられた条件の中で課題解決に結びつける視点で改革プランを策定した。

問 日本共産党が行った市民アンケートには、佐沼病院に産科・小児科の充実。米谷・米山病院の診療所化反対。登米診療所入院ベッドを。が市民の声として上位を示している。市長はこの声に応える市政運営をされているか見解を伺う。

答 昨年12月病院改革プランを策定し、2病院5診療所体制へ再編することで、現在の医療水準を確保しながら「安全・安心の医療提供」「医師の労働環境の改善」「安定した経営基盤の確立」を目指し、地域から信頼される市立病院作りを進める。ご理解を願う。

問 改革プランは展望を示すまで、現在の体制を変えるべきでないと考えます。登米市医師会への協力要請は。

答 医師会の協力をいただくよう最大限努力したい。



### その他の質問

○米粉用米普及の助成制度を求める。

### 問 公共事業について

答 景気対策として早期に発注する



武田節夫 議員

問 公共事業の第1四半期の発注について。

答 新年度発注準備が整い次第、市単独事業として早期に舗装工事と改良工事等を発注する予定である。

問 昨年10月開催した業者との懇談会は、どのような趣

旨か。

答 市発注工事に係る入札及び工事監督についての要望等を聞き、今後の検討に資するため開催した。

問 百年に一度といわれる金融不況の中、地方も大きな影響を受け、景気悪化で職を失い苦しい生活を余儀なくされている。そこで同

答 ①市独自の雇用策、兼業農家に対する雇用対策について。②公共事業の早期発注と内需拡大について。

答 ①資格、技術取得給付金制度を創設し、市独自の雇用促進策を実施している。また、国の2次補正予算の雇用創出事業の実施に向けて努力する。②可能なもの

に限り、早期発注できるように進める。また、管工組合、生コン協同組合からの要望についても、地産地消を進める中で活用し産業の下支えをする。

問 総合支所の見直しについて。

答 協働社会の構築と併せ、新年度に総合検討委員会を立ち上げ、本庁と総合支所の役割を踏まえた見直しを行う考えである。

### 問 市土の荒廃防ぎ生物多様性確保を

答 自然と産業の調和した発展を目指す



星 順一 議員

問 市の森林面積は2万2000ha、水田は1万6800ha、北上川・迫川・伊豆沼・長沼などの河川湖沼、

水路等は4000haに及ぶ。太古においては北上川の流路や大遊水地であったこの地が、先人の血のにじむ努力によって干拓開墾が進み、河川改修や土地改良事業が営々と行われ今日がある。かつては田畑山林はもちろん河川の草木まで人の手が加えられ、生活や生産に深

くかわった自然・豊穡の大地であった。近年は、手入れのされない林地、耕作放棄地や河川堤防内外も雑木の繁茂に任せ、年々その面積が拡大しているやに見受けられる。市土の荒廃は経済、防災、景観、生物多様性の確保の面でも大きな課題だ。

問 市有林及び民有林の登米、東和、津山町域については間伐等がされている。他町域についても取り組む。収入間伐を行いながら長伐



麓岳山から北上山地を望む



# 提出された議案

## 第1回臨時会

平成21年1月29日

▼20年度一般会計補正予算  
(第8号)

※原案可決

## 第1回定例会

平成21年2月5日～  
3月3日

### 人事

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること  
について

※適任

### 20年度補正予算

▼20年度各会計補正予算

(一般会計第9号・国民健康保険特別会計第4号・老人保健特別会計第4号・後期高齢者医療特別会計第4号・介護保険特別会計第4号・土地取得特別会計第2号・下水道事業特別会計第3号・宅地造成事業特別会計第1号・水道事業会計第5号・病院事業会計第4号・老人保健施設事業会計第3号)

※いずれも原案可決

### 21年度予算

▼21年度各会計予算

(一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・土地取得特別会計・下水道事業特別会計・宅地造成事業特別会計・水道事業会計・病院事業会計・老人保健施設事業会計)

※いずれも原案可決

### 条例の制定・廃止・一部改正

▼福祉作業所条例の制定について

▼養護老人ホームきたかみ園設置条例を廃止する条例について

▼条例の一部改正

(東和多目的集会所施設条例・交通安全指導員条例・防犯指導員条例・保健福祉施設条例・介護保険条例・市営住宅条例・手数料条例・公民館運営審議会条例・水道事業給水条例・児童厚生施設条例・農業集落排水事業条例)

※いずれも原案可決

### 指定管理者の指定等

▼指定管理者の指定

(津山集出荷・塩蔵施設・米山産地形成促進施設及び米山西野農村公園)

▼指定管理者の指定の議決事項の変更について

※いずれも原案可決

### 市道路線の認定等・その他

▼市道路線の認定について  
▼市道路線の変更について  
▼字の区域をあらたに画することについて  
▼財産の取得について

※いずれも原案可決

### 請願・意見書

▼入札制度の改善に関する請願

※不採択

▼五ヶ村堀排水機場改修(高位部・低位部)に係る地元負担の軽減について

※採択

▼豊里複合施設中ホールのロールバック方式の座席整備について

※不採択

▼協同労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書

※原案可決

## 第2回臨時会

平成21年3月11日

### 20年度・21年度補正予算

▼20年度各会計補正予算

(一般会計第10号・介護保険特別会計第5号・宅地造成事業特別会計第2号・病院事業会計第5号)

※いずれも原案可決

▼21年度各会計補正予算  
(一般会計第1号・介護保険特別会計第1号・下水道事業特別会計第1号)

※いずれも原案可決

### 条例の制定・一部改正・その他

▼介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について

▼個人情報保護条例の一部を改正する条例について

※いずれも原案可決

▼財産の取得について

※原案否決

▼訴えの提起について

※原案可決

▼宮城県市町村自治振興センター規約の変更について

※原案可決

## 第3回臨時会

平成21年3月27日

### 財産の取得

▼財産の取得について

※原案可決

### 20年度補正予算

▼20年度各会計補正予算

(一般会計第11号・国民健康保険特別会計第5号・老人保健特別会計第5号・後期高齢者医療特別会計第5号・介護保険特別会計第6号・土地取得特別会計第3号・宅地造成事業特別会計第2号・水道事業会計第6号・病院事業会計第6号)

※いずれも原案可決

## お詫びと訂正

とめ市議会だより第15号(2月9日発行)19ページ、西條清貴議員の一般質問  
**答**の中で、「救急出場中に火災が発生する頻度が2年に1回以上の場合」とあるのは「2年に1回以下」の誤りでした。  
 お詫びして訂正いたします。

## 総務企画 委員会

◎1月23日調査

①入札（総合評価制度）について

総合評価制度は品質低下の予防措置として必要であると考えられる。試行中でありその中で検証を重ねる必要がある。価格、技術両面からの評価と透明性、公平

性の確保を図り、より良い入札制度の確立を望む。  
②消防出張所建設事業計画について

多くの出張所は老朽化が進み、防災の中核として耐震化等を考えると、建設事業は急いで進めるべきと考えられる。複雑多様化する災害に対応する体制整備が重要であり、救急自動車配備に伴い消火力が低下しない適正人員配置に考慮願いたい。安心安全の登米市を目指すとき、総合的な消防行政の

積極的な推進を望む。



老朽化が著しい各消防出張所

◎1月8日調査  
第4期介護保険事業計画について

○21年度から介護従事者の処遇改善のため、20年度の報酬に対して、介護報酬が3%上昇する。

## 教育民生 委員会

○介護老人施設の整備  
1. 介護老人福祉施設（特養）は現在370床で23年度末まで現状維持。

2. 介護老人保健施設（老健）は現在325床を23年度まで100床増床予定。

3. 地域密着型介護老人福祉施設（特養）は東和町のエルダーに20床の増床。

4. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）は現在の167床に対し3ユニット27床を増床整備。

5. 特定施設入所者生活介護（ケアハウス）を新たに29床整備予定。



20床増床される東和町「ほほえみエルダー」

# 常任委員会活動報告

◎1月26日調査

①請願審査 五ヶ村堀機場受益面積2180ha、受益者2000人、事業費25億円の機場改修の地権者負担分、10%の軽減を市に請願するもの。

〔所感〕 援助は必要と考えるが、受益者は市民全体である

ることと、今後の同類事業への公平性についても考慮すべきと考える。

②雇用対策について 追加の雇用対策について説明を受けた。

〔所感〕 市独自のいち早い施策の立案と、国の措置が決定次第、即実行に移せる体制作りが必要と考える。

③地産地消の現地調査 「道の駅みなみかた」と「産直なかだ愛菜館」を視察。

〔所感〕 安心して地元作物を



産直なかだ愛菜館

消費していただくと共に、継続的な安定経営を望む。

## 建設水道 委員会

◎2月2日調査

①三陸道の進捗状況について

鶉波トンネル北側の崩落や軟弱地盤の沈下が収まらず工事が遅れたが、3月22日の開通を控え、急ピッチ

で工事が行われていた。今後は、登米インターの利用により地域経済にプラスになる周辺整備が必要。

②建設部・水道事業所の新年度予算について

工事の早期発注ができるよう配慮し、景気対策の一環となることを望む。

◎2月26日調査



越流事故現場を調査

経験が慣れにつながった部分は昨年の事故と同じであり、事故発生からの情報伝達が遅すぎる。早急に、具体的な見直しを求める。

あなたの声

# 市民メッセージ

わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。



ひでよ 義弥さん  
(迫町)

## 新議員に期待すること

議員の定数が減少した今後は、ますます住民と行政との間に立つ議員とのコミュニケーションが重要になります。市民の期待に添える議員であれば、少々議員報酬が高くなっても文句は言いません。期待しています。

現在まで発行されている「とめ」市議会だよりの市民メッセージ「あなたの声、わたしの提言」を拝見すると、市民各層の方々の市政に対する要望と共に、市議会に対する熱い期待が感じられる内容のものが多く、新体制になった市議会は、今後その真価を問われる正念場を迎えることになり、市民の評価のレベルは一段と高くなります。大変困難な社会情勢ですが「市民の、市民による、市民のための政策」実現のため頑張っていたきたいと思います。

4月19日、市制施行後第2回目の登米市議会の改選が行われ、30名の新議員が誕生しました。今回は新しく定められた定数による初の選挙であり、激戦を勝ち抜かれた方々には心から敬意を表したいと思います。これから登米市も市議会も、発足以来4年間の予習期間を終えて、この4月から市としての本来の機構を整えることが出来たのは大変喜ばしい事です。

## ボランティアで人の輪を



すずき 鈴木ひで子さん  
(豊里町)

高齢の方が閉じこもりにならず、生涯現役の生活を続けてもらいたいと始めた地域ミニディサービスも、「ありがとつ」の言葉と明るい笑顔に後押しされ5年目を迎えました。

先日、しばらく顔を見せない一人暮らしの方を訪ねたのですが、声がかすれ会話になりません。「久し振りに声を出したからうまく喋れない」と言つのです。人はどんどん外に出て人と交わる事で心身の健康が保たれていくのですね。こちらから迎えに行く事もできずた筈なのに、規則だから、ボランティアだからと甘えの気持ちがありました。弱い立場の人に手を差し延べてのボランティアではなかったのかと反省しきりです。

自分が楽しいと思える事が長続きの秘訣と教えて下さった方がいます。どうか男性の皆さん、送迎、環境整備ボランティアのご協力を頂けないでしょうか。

廃校となった旧豊里小学校舎で、町域サロンや学童保育、保育園が併設できて、いつも賑やかな子供達の笑い声が響く光景を夢見ています。厳しい諸事情があると思いますが、既存建造物の有効活用法がないのでしょうか。荒廃していく学び舎を見るのは寂しいです。何よりも「もったいない」と思っています。

## 市民一人ひとりの一票を大切に

この度の市議会選挙でご当選された皆様、本当におめでとうございます。議員数も30名となり議員さん方一人ひとりに期待するものは、今まで以上に厳しいものとなると思います。百年に一度といわれる大不況の現在、登米市においても、医療関係、雇用問題、農業関係等課題は山積し、社会情勢は大変厳しいものとなっております。

その様な時だからこそ、議員さん方一人ひとりが、市民の目線に立って目利きをし、機敏に課題解決にむけ汗を流してほしいと思います。時には、耳を「ダンボ」にし市民の声に耳を傾けて下さい。時には、行政の事業に対して充分事業内容を熟知し、市民が納得のいかない時は、理解が得られるよう説明して下さい。

地域に一番身近な市議会が、私達の代表として一人ひとりの一票を大切に、市民の切実なニーズを的確にとらえ、「安心・安全な登米市」発展のため力を注いでいただきたいと、切に希望します。

元気なまち、登米市を築いていくために…皆様方に大きなエールを送りたいと思います。



かたから 片倉 成子さん  
(米山町)

~~~~~ 議会からのお知らせ ~~~~~

**市議会第2回定例会**

**6月10日（水）10時 開会**  
・補正予算 ・一般質問など

議会は市政を知るよい機会です。  
お気軽に傍聴してください

議会のホームページを  
開設しています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>



**意見書**

公益に関わる意見書案が提出され、審議の結果、可決しました。  
内閣総理大臣をはじめ関係行政庁に送付し、その実現を要請しました。

協同労働の協同組合法（仮称）の速やかな制定を求める意見書  
国においては、協同労働が新たな労働のあり方や就労の創出、地域再生に資するものであり、少子高齢化に対応する有効な制度であることを踏まえ、協同労働の団体に法人格を付与し、その振興を図る「協同労働の労働組合法」を速やかに制定するよう強く要望する。

**議会報編集特別委員会**



- |       |        |        |       |
|-------|--------|--------|-------|
| 關 孝   | 佐藤 尚哉  | 伊藤 吉浩  | 中澤 宏  |
| 工藤 淳子 | ◎田口 政信 | ○岩淵 正宏 | 田口 久義 |

◎は委員長 ○は副委員長

読みやすく、親しまれる議会だよりを目指します。